Javaの成績未認定について

学校長　小見　英晴

担当教諭　土沼先生

提出日

納期　令和元年10月1日

　CG・ゲームクリエイター科　2年

氏名　武田芽衣

未認定教科名：Java

担当教員名：土沼先生

私は、令和元年度前期科目Javaの評価がC5となりました。原因はいろいろありますが、まずJavaの授業中に、チームのゲーム制作やほかの授業の課題をしたり、個人制作している作品の作業に集中していて、先生が話をしている時も先生の話を聞き逃すことが多かったので、作業内容がわからないまま、授業中課題に取り組んでいることが多かったです。また、ホームワークでは授業で出た課題を安易に考え、納期までに課題が終わらず提出し忘れることもありました。検定試験の過去問題を課題で出された際もわからない問題を選択肢の根拠を考えることをせず、選択して解答することが多かったです。採点後どうして間違えたのかと理由をしっかり考えることもしていませんでした。そして、わからなかった問題や、間違えた問題を、見直しや答えを見て理解するまで勉強をすることをせずに、採点するだけで済ませることが多かったです。わからないところは、わかっている人に聞いたり、解説をよく読んだり、インターネットで調べたりすることで理解を深め、それでもわからなかったところは、先生に質問してわからないことを解決していくべきでした。先生の授業中の指示をしっかり聞き、集中して授業に取り組むべきでした。授業に対する集中力や努力、家での自主学習が少なかったと思います。さらに、私はJavaの2級の検定試験当日、欠席し外出していたので受験できなかったことも今回の結果を招いた理由であり深く反省しています。

私は将来フロントエンドエンジニアという職業に就きたいと考えていて、そのために、自分で実力をつけたいと考え自主的に技術を身につけようと勉強していました。また経験を積みたいと思い、株式会社エイチーム「引越し侍」の長期就業型のインターシップに申し込み、選考の最終面接が期末試験の前後にあったので、提出書類や面接の内容や交通手段の確保などに時間をかけてしまいました。インターンシップのための面接のことで頭がいっぱいになっていました。また、株式会社エイチーム名古屋本社の「サマーインターンシップ」にも申し込んでいたので、一次選考のプログラミング選考の問題を解いたり、二次選考のWebの基本問題の解答や面接日時を決めたりすることにも優先的に時間を割くことが多く、Javaの期末試験勉強に重点を置くことができず、期末試験勉強に集中しきれていなかったことが多々ありました。物事に区切りをつけず、試験勉強に集中する時と、違うことに集中する時とを場面ごとで、切り替えができなかったことが原因だと思います。これら理由で、単位の未認定という結果を招きました。今回のことから、努力を怠らないことは、重要だと感じました。自分が進んでやりたいと思わないことでも、真剣に物事を捉えて、自分の将来のための勉強だと思い、課題なども納期が近くなってからはじめるのではなく、納期に余裕をもって取り組むことが大切だと学びました。私は安易な考えで行動してしまうことが多いので、安易な考えではなくよく考えた上で行動すべきだと思いました。

これからは今回の失敗から得たことを教訓にして、主に三つのことを意識して頑張ります。まず一つ目に、生活習慣の改善です。私は授業に集中しきれてないことが多いので、早寝早起きをして朝ごはんをしっかり食べ、一つ一つの授業に対して、集中力を切らさないように気を付けます。また、体調を崩してしまい学校を休むことがあったので、寝る時間を早め、体調管理に十分に気を付けます。二つ目は事前学習を行うことです。教科書を読むことをあまりしていなかったので、基礎問題でつまずくことが多かったです。三つめは、人の話をしっかり聞くことです。私は授業中にほかの作業に集中してしまうことが多く、話を聞くことに対してすべてを集中させていませんでした。これからは先生が話をしている際や、何かを書いているときはメモを取り、ほかのことは行わず話を聞くことだけに集中を向けていきます。私はこれからもこの学校で、もっとプログラミングについて深く勉強していきます。また家でも自主学習に今より多くの時間をかけ、プログラミングの理解を深めていきます。今回の単位のJava単位の未認定で学んだことを生かし、学校で授業内での態度を改めること、家での自主学習に精進します。今回に限りましては寛大な措置をいただき単位を認定していただけますようよろしくお願い致します。この度は本当に申し訳ございませんでした。